

鹿沼市役所 **新**

庁舎開庁



市長あいさつ



鹿沼市長
佐藤 信

鹿沼市役所新庁舎は、令和5年5月8日に無事完成・開庁を迎えます。これまでの経過を振り返りますと、新庁舎整備事業は平成23年3月に発生した「東日本大震災」を契機に開始しましたが、建設場所の決定や整備規模・施設計画の見直し、事業の延期など、約10年もの歳月をかけたようやく結果することができました。市民の皆様をはじめ、市議会、関係各位からの検討委員会など、多大なるご協力・ご支援をいただいております。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

新庁舎は、旧庁舎の課題であった、耐震性の不足や狭あい問題を解消することができるとなりました。特に、防災機能においては、災害時でも3日連続で稼働可能な非常用発電設備の設置など、行政・防災本部としての庁舎機能を十分に維持できることや、誰もが使いやすいユニバーサルデザインを重視した設計、「木のまち鹿沼」の誇る木工技術の粋をこらした木質化、本県唯一の木造議会棟、シンボルツリーの二本松や深岩石の壁材・壁画など、旧庁舎からの歴史も受け継いだ、中心拠点にふさわしい庁舎となりました。今後は、「笑顔あふれるやさしいまち」、「協働のまちづくり」の拠点として、市民の皆様と共に働き、愛される市役所になりたいと考えております。

本年は市制75周年という記念すべき節目の年でもあります。市民の皆様が親しまれる市役所を職員と共に目指してまいりますので、引き続きご支援の程どうぞよろしくお願いいたします。

鹿沼市役所 駐車場

配置図



新庁舎整備事業の軌跡

平成23年 8月	旧庁舎耐震診断実施
25年 8月	基本構想決定
27年 5月20日	基本計画決定 工事費高騰等により、事業の延期決定
28年 4月16日	熊本地震発生により、防災拠点としての新庁舎整備の検討再開
30年 5月	全面建替を決定
9月30日	基本設計完了
令和 元年 9月30日	実施設計完了
2年 1月29日	施工業者決定
2月	1期工事着工
4月10日	起工式
3年 6月30日	1期工事竣工
7～8月	備品設置・ネットワーク配線・移転作業
8月17日	1期工事部分開庁
9月	2期工事着工
5年 2月28日	2期工事竣工・引渡
3～4月	備品設置・ネットワーク配線・移転作業
4月30日	新庁舎竣工記念式典
5月 8日	開庁



新庁舎の概要

所在地	鹿沼市今宮町1688番地 1
敷地面積	9,054.42㎡
建築面積	2,922.02㎡
延床面積	10,505.05㎡
構造	耐震構造 ・行政棟：鉄骨造 地上6階 ・議会棟：木造 地上2階 ほか 接続廊下、公用車車庫、守衛倉庫、 駐輪場、ごみ保管庫、 バリアフリー駐車場、受水槽
駐車台数	150台
設計・監理	(株)佐藤総合計画
施工者	大成建設(株)
建設事業費	66.3億円



新庁舎の特徴

市民の暮らしを守る安全・安心な庁舎

①災害対策本部

災害時の中枢機能を果たす防災拠点として、災害対策本部を常設。

➡災害時には各地域の情報収集とともに、救助活動や応急活動を必要とする地域に対して、活動要員の派遣や指示、住民への情報提供を行います。



②非常用発電設備を完備

災害によるインフラ停止に備え、非常用発電機とともに地下オイルタンクには1万リットルの重油を常備。

➡連続で72時間以上発電可能となり、大停電の非常時でも行政機能を維持できます。



③バリアフリー・おもいやり駐車場

身障者利用のため「バリアフリー駐車場」を3台分、高齢者やお子さん連れのご家族に使いやすい「おもいやり駐車場」も5台分用意。

➡間口はそれぞれ3.5mと3m。通常の2.5m間口に比べ広く、停めやすい駐車場です。バリアフリー駐車場には雨天時も傘の必要のないよう庇も設置してあります。



環境への配慮、ライフサイクルコストを追求する庁舎

④ 周辺環境とライフサイクルコスト低減の両立

ライフサイクルコストを追求しながらも、鹿沼の自然・歴史・文化の環境に溶け込む外観を実現。

➡歴史ある鹿沼城跡に建ち、桜の御殿山公園と今宮神社の森に囲まれる新庁舎は、随所に鹿沼の景観を想起させる素材やイメージを尊重した外観となっています。



地域資源の活用で“鹿沼らしさ”を表現する庁舎

⑤ 鹿沼産材の利用

木のまちかぬまを象徴する市庁舎として、その内外装に鹿沼産材（認証材）をふんだんに利用。

➡市庁舎内には伝統工芸品である「鹿沼組子」を随所に利用しています。また、議会棟は別棟での木造化を県内で唯一実現しています。



⑥ 深岩石の利用

鹿沼特有の石材である「深岩石」を使用。

➡今宮神社側の外壁に「深岩石」を利用することで鹿沼の景観との一体感を高めています。また、市庁舎のシンボルツリーである「二本の松」についても「深岩石」による化粧を施しました。

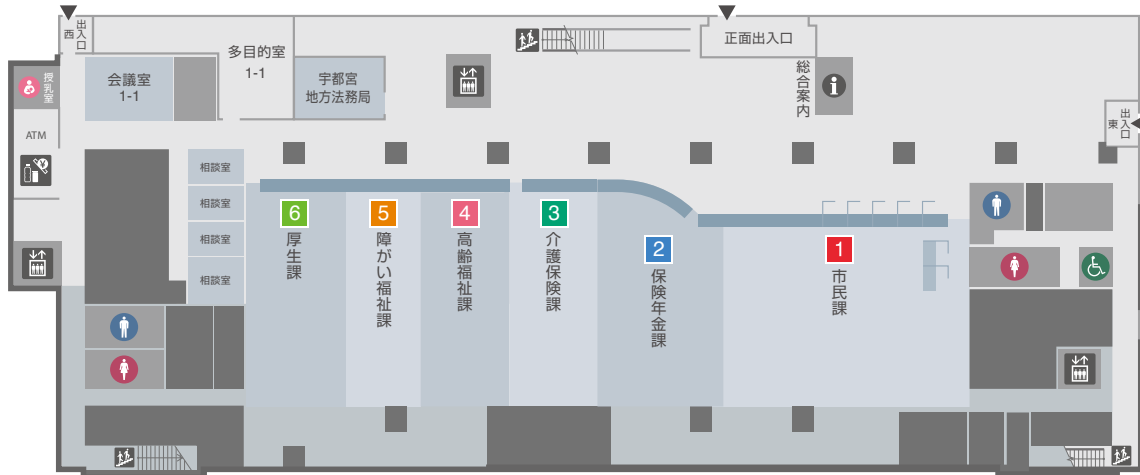


新庁舎フロアマップ 明快で使い易い、機能性と効率性を重視したコンパクトな庁舎

誰もが利用しやすい庁舎とするため、市民の利用頻度の高い窓口部門を1～2階に、行政の中核部門を3階に、まちづくり部門を4～5階に効率よく機能的にまとめる構成とします。また、業務効率向上のため、部署の連携が安易にとれ、組織改編等の変化にも柔軟に対応できる庁舎とします。

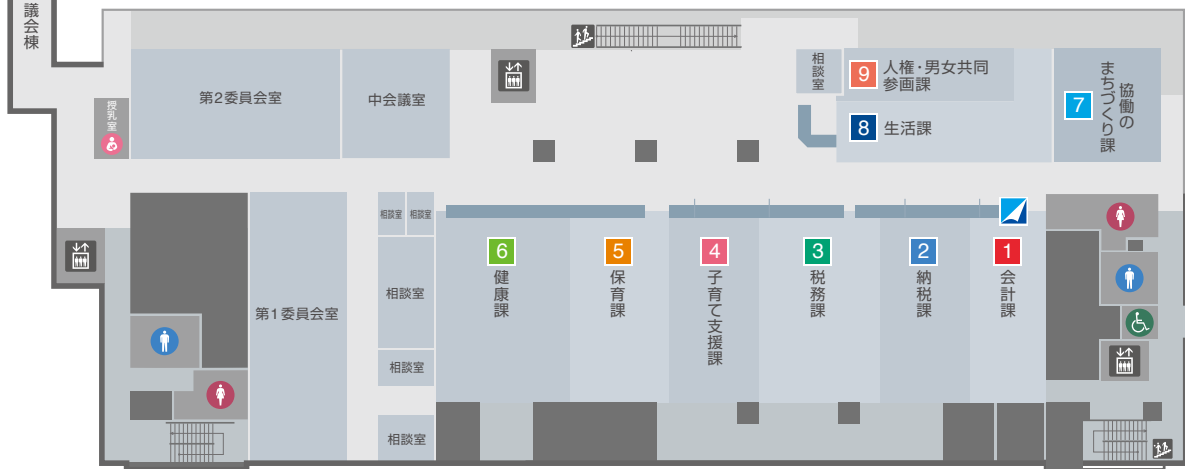
行政棟

1階 市民部 保健福祉部



「議事事務局」

2階 行政経営部 市民部 保健福祉部 子ども未来部 など



「議事棟」

3階 秘書室 総合政策部 行政経営部



「議事場」

※このフロアマップは5月8日完全開庁後からの配置です。

新庁舎特集

かえる組
／
ワーキングスペース

ヤングケアラー
／
納税メモ

特定健診
／
ヒトハピロームウィルス

フラッシュユ

市民のひろば

健康

お知らせ

さつき祭り



議会棟

